

卿の羽は依くひあへ鷹を贄ふなり一事を以て其と
思ふの事あり他處の人れあも同一事と爲し其をへや一の
事と爲し祓禊の大祓の鷹の事あり一の條は日本書紀を
以てて同くもよ吉備臣鴨別と云人れあるより其を
是へきあもあへ禊も金くち傳へ禊もたぐち故るなり其
るるあり此事本居大平中も其のりる所見ハあへねども
信濃國諏訪の贄鷹の類本へ一祓禊のりハ吾妻鏡廿
卷ハ丁可禁断鷹狩事被仰守護地頭等但於信濃國
諏訪大明神御贄鷹者被免之由云く同廿一世六也と此のり
あり吉備のりハあへひども此れ本へ一のり又贄